

ケシボウズタケ(ケシボウズタケ 科)

兵庫県：要調査種

Tulostoma brumale Pers.

環境省：-

種の概要

子実体は幼菌の間、地中生で、径1~1.5cmの球形または類球形、最初は白色で、のち褐色となる。成熟すると柄部が伸長し、頭部は地表に出る。殻皮は2層で、外皮は地表で剥落し、頭部の下や柄の基部に残る。内皮は膜質か紙質で成熟すると頂孔を開き、孔口は乳頭状に突出し、円孔は明瞭である。肉は白色で中空か中実。頭部は基本体で、暗褐色の粉状胞子塊となる。夏から秋に、砂地や荒地に発生する。



写真提供：平山吉澄

国内分布

兵庫、他不明

県内分布

西淡町

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
○		○				○



特記事項

県内の発生確認は一ヶ所のみ。発生は激減している。

保護上の留意点

発生地の保全、砂地と海浜植物の面積割合のバランスを保つ。